

申請に対する処分の審査基準・標準処理期間

許認可等の内容		一般廃棄物処分業の変更の許可
根拠法令及び条項		廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条の2第1項
所管部課係名		市民生活部環境課生活環境係
審査基準	関係条項	
	基準 (未設定の場合はその理由)	<p>法第7条の2第2項において準用する法第7条第10項（第3号の規定による省令第2条の4を含む。）の規定による。</p> <p>第7条</p> <p>10 市町村長は、第6項の許可の申請が次の各号のいずれにも適合していると認めるときでなければ、同項の許可をしてはならない。</p> <p>(1) 当該市町村による一般廃棄物の処分が困難であること。</p> <p>(2) その申請の内容が一般廃棄物処理計画に適合するものであること。</p> <p>(3) その事業の用に供する施設及び申請者の能力がその事業を的確に、かつ、継続して行うに足りるものとして環境省令で定める基準に適合するものであること。</p> <p>(4) 申請者が第5項第4号イからルまでのいずれにも該当しないこと。</p> <p>省令第2条の4 (一般廃棄物処分業の許可の基準)</p> <p>第2条の4 法第7条第10項第3号(法第7条の2第2項において準用する場合を含む。)の規定による環境省令で定める基準は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 処分(埋立処分を除く。以下この号において同じ。)を業として行う場合</p> <p>イ 施設に係る基準</p> <p>(1) 浄化槽(浄化槽法第2条第1号に規定する浄化槽(同法第3条の2第2項又は浄化槽法の一部を改正する法律(平成12年法律第106号)附則第2条の規定により浄化槽とみなされたものを含む。)をいう。以下同じ。)に係る汚泥又はし尿の処分を業として行う場合には、当該汚泥又はし尿の処分に適するし尿処理施設(浄化槽を除く。第13条第5号を除き以下同じ。)、焼却施設その他の処理施設を有すること。</p> <p>(2) その他の一般廃棄物の処分を業として行う場合には、その処分を業として行おうとする一般廃棄物の種類に応じ、当該一般廃棄物の処分に適する処理施設を有すること。</p>

		<p>(3) 保管施設を有する場合には、搬入された一般廃棄物が飛散し、流出し、及び地下に浸透し、並びに悪臭が発散しないように必要な措置を講じた施設であること。</p> <p>ロ 申請者の能力に係る基準</p> <p>(1) 一般廃棄物の処分を的確に行うに足りる知識及び技能を有すること。</p> <p>(2) 一般廃棄物の処分を的確に、かつ、継続して行うに足りる経理的基礎を有すること。</p> <p>(2) 埋立処分を業として行う場合</p> <p>イ 施設に係る基準</p> <p>(1) 埋立処分を業として行う場合には、一般廃棄物の埋立処分に適する最終処分場及びブルドーザーその他の施設を有すること。</p> <p>(2) 削除</p> <p>ロ 申請者の能力に係る基準</p> <p>(1) 一般廃棄物の埋立処分を的確に行うに足りる知識及び技能を有すること。</p> <p>(2) 一般廃棄物の埋立処分を的確に、かつ、継続して行うに足りる経理的基礎を有すること。</p> <p>新座市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第7条の規定による。</p> <p>(一般廃棄物処理業の変更の許可)</p> <p>第7条 法第7条の2第1項の規定による一般廃棄物処理業の事業範囲の変更の許可を受けようとする者は、新座市一般廃棄物処理業変更許可申請書を市長に提出しなければならない。</p> <p>2 前項の規定による申請があったときは、その内容を審査の上、許可の可否を決定し、新座市一般廃棄物処理業変更許可・申請却下通知書により、その旨を申請者に通知するものとする。</p>
	参 考 事 項	
	設定等年月日	平成27年4月1日設定（令和2年1月1日最終変更）
標準処理期間	標準処理期間 （未設定の場合はその理由）	30日
標準処理期間	設定等年月日	平成27年4月1日設定（平成 年 月 日最終変更）